



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年10月7日（金）



2年生の国語の授業では、「お手紙」という物語文を学習しています。アーノルド・ローベル作のがまくんとかえるくんのシリーズです。「ふたりはともだち」「ふたりはしんゆう」などが有名ですね。がまくんもかえるくんも心が優しく、いつもお互いを大切にしています。その一方で行動がとてもユーモラス。読んでいて思わずクスツとしてしまいます。授業では、叙述から二人の心情を読み取り、それを音読に反映させることが学習のめあてです。お手紙をもらえず落ち込んでいるがまくんのために、かえるくんはお手紙を書きます。早く渡したいのですが、そのお手紙をかたつむりくんに託してしまうので、なかなかお手紙が届きません。がまくんは、そんなことはつゆ知らず、いつまでたってもお手紙をもらえないことに嘆きます。果たしてお手紙は届くのでしょうか。



外国語の授業では、簡単なセンテンスを用いてコミュニケーションをとれるようになることをねらい、学習活動では必ず会話に取り組む場面が盛り込まれています。

今日の6年生の授業では、

“Where is it from ?”

“The ○○ is from～.”

“The ○○ are from ～.”

というフレーズを使って会話をしました。二人ペアになって、教科書のイラストを指し示しながら、それがどこから来たのか尋ね、相手が国名等を答えます。和気あいあいとした会話の声が教室内いっばいに広がります。2学期になって、だんだん英語で会話をする楽しさを感じ始めてきたようです。

本校では、学校課題研究として、外国語の授業改善に取り組んでいます。11月9日は、管内の先生方が来校し、授業研究会を実施する予定です。



国語には、戦争教材と言われるものがあります。本校で使用している教科書では、3年生で「ちいちゃんのかげおくり」、4年生で「一つの花」を学習します。それぞれの物語のテーマは、戦争と平和です。主人公の心情等を読み取りながら、戦争の悲惨さや非人間性と平和な世の中の尊さについて理解を深めていきます。今、世界では不穏な空気が流れており、子供たちはこれらの物語と重ね合わせて感じるものがあることでしょう。画像は、3年生が「ちいちゃんのかげおくり」の読み取りが終わり、感想を書いているところです。

